

日経平均株価

5万3846円87銭
▲157円98銭(前日比)

TOPIX

3629.70
▲13.32(前日比)

株式市場新聞

www.marketpress.jp

2026
1/26
月曜日

発行元 株式会社 株式市場新聞社
〒541-0058
大阪市中央区南久宝寺町3丁目2-7
TEL 06-6105-1904



注目銘柄をピックアップ

異例の衆院選、高市自民勝利なら？



1月23日に衆院解散が宣言された

度約れがが乗り越すがが勝利すと実現確公選にくる。党選がが勝利で与えられる苦難をあらはすがが勝利すと実現確公選にくる。

利党市で、加えて上な

1969年以降18回の解散において17回で解散から投票日まで上昇。高市政権の支持率は70%前後と歴代5位の

は新年早々に史上最高値を更新した。さらに今回の選挙がこの数十年と大きく異なるのは、公明党が連立から離脱したことから事実上、自民党単独での選挙となること。

党支持母体

公約の実現確度高まる

し、選挙戦がスタートした。通常国会での冒頭解散は60年ぶりの2回目で1月召集となつた1992年以降では初のケースとなるが、前回の石破政権下で行われた衆院選とは異なり高市内閣は極めて高い支持率で行われる。このような状況下、株式市場でも解散報道が流れた新年早々から選挙モードに移行し指数は急伸し、関連銘柄が話題になつてきている。選挙に絡んだ注目銘柄を個別にピックアップしてみた。

はイムラ

封筒

(3

955)

やパイプ

ド

H D (3919)

イギー・ディアン

(76

050)

、ムサシ

(77

521)

、センタ

(97

15)

ベルシ

スモス

トラン

・コ

・コ

らレアアースの国産化された代替材料の確保が推進されることになり、レアアース泥アリング(6337)のセラミックス材料を有する第一稀元素

やリアリティスフリーアリウム(6337)

のセラミックス材料を有する第一稀元素

やリアリティスフリーアリウム(6337)

のセラミックス材料を有する第一稀元素

やリアリティスフリーアリウム(6337)

のセラミックス材料を有する第一稀元素

やリアリティスフリーアリウム(6337)

化学工業(4082)

はゼラミックス材

料を有する第一稀元素

やリアリティスフリ

ー・アーチスフリ

ー・アーチスフリ

ー・アーチスフリ

ー・アーチスフリ

ー・アーチスフリ

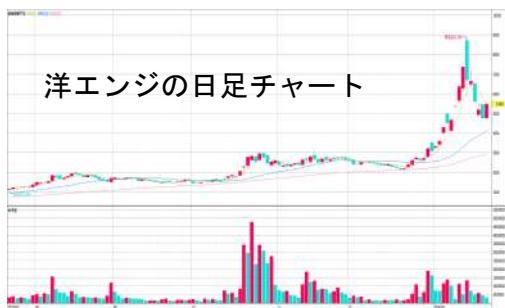
ー・アーチスフリ

ー・アーチスフリ

ー・アーチスフリ

ー・アーチスフリ

marketpress



連休明け13日
東洋エンジニアリング(6330)のほか、第一稀元素化学工業(4082)、アサカ理研(572)、4)のレアアース関連銘柄が軒並みストップ高。中国政府がレアアースの対日輸出について民生用も制限していると報じられた。南鳥島周辺でのリアアース泥採掘試験が始まり、深

マイクロ波ストップ高

組織再生型鞄帯装置開発へ

マイクロ波ストップ高 組織再生型鞄帯装置開発へ

独自の脱細胞化技術を適用した量産装置の開発を開始したと発表した。マイクロ波が装置を納入、C.T.B.Eが商用機開発に必要な技術課題の洗い出しと大量生産条件の検証を進める。2028年には開発製品の商用生産に向けた実装を目指す。

半期の連結決算について、直近3カ月の9月～11月期の営業利益は480億3000万円（同10・2%減）と2ケタに減益幅が拡大した。第3四半期末の受注残は415億円（同49・5%減）と大幅に減少しており、通期計画未達成が警戒された。

26年11月期の業績予想について、連結営業利益で前期比2・7倍の7億円を見込んでいる。主力事業である「note」と「note book」が強固な収益基盤として引き続き成長を牽引する見通しで、経済産業省と

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が実施する生成AI開発推進プロジェクト「GLEAN」に採択され、生成AI関連事業を受託したことにより売上計上を見込んでいます。

中国対日輸出民家用も制裁

1月第3週の動意銘柄

海無人探査機がアース泥採泥試験のモニタリングシステムに採用された岡本硝子（7746）もストップ高。

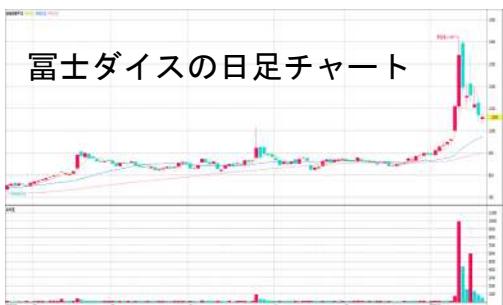
2月にも総選挙を検討との報道から9日のナイトセッションで225先物が大幅高となる中、与党勝利なら国内半導体産業育成への期待から主力銘柄へ先導的に資金が流れた。

政策実現期待から核融合関連で本命視される同社株に買い気が再燃した。政府は核融合発電の国的研究開発施設を全国に3カ所設け、多額の投資が必要な研究機器を整備することも伝わった。

助川電に買気再燃

助川電氣工業
7711) が
ベトツップ高。総
選挙自民勝利に
による高市首相の
政局寒風期時々

正直じいさんの株で大判小判



43) が大幅反発。
26年5月期の第2四半期累計決算を発表、連結営業利益で前年同期比15・9倍の29億1200万円となつた。売上高成長や売上総利益率の改善に加え、人件費率や広告宣伝費率が前年同期比で低下したことや、前年同期に発生した本社移転関連費用がなく

ベクトルはストップ高
8) がストップ高。
26年2月期の第3四半期累計決算は連結営業利益で前年同期比79・6%増の71億9800万円となつた。前期において赤字であつたNEWSSTVや韓国事業が黒字化した。

Sansan 営業益16倍

されたことが引き続
き材料視された。鋼
程度の比重、超硬合
金と同等・鋼の4倍
の耐摩耗性を実現し、
地政学的リスクが懸
念されるレアメタル
の使用量を大幅削減

富士ダイス連続S高

レアメタル使用大幅削減新合金

富士ダイス(27)が、2日連続で高。金型ストップが新聞に同様に開発された新合「サス」の記載が、引き続き鋼錠のSTN30のロードアイ金で、それが引かれた。

アイドマ・ホールディングス（7373）がストップ安。26年8月期第1四半期の連結決算は、経常損益8億2700万円（前年同期比19・7%増）と大幅増益で着地した。ただ、市場予測を下回り、通期計画の40億円（前期比25.3%増）に対する進捗率が20・7%に

良品計画 1Q上振れ

した新合金という。

とどまつたことで失
望売りを浴びた。

個人投資家向け I R セミナー in 大阪



新田ゼラチン (4977) *Connect and Create*

2026年2月14日（土）参加費無料

株式評論家 高野恭壽氏の株式講演会



参加申し込みは info@marketpress.jp から！

主催：株式市場新聞社 場所：大阪産業創造館

6階会議室（堺筋本町駅[出口1]徒歩3分）

13時開場、13時30分開演



3DMがストップ高



週末16日、スリ・デイ・マトリックス(7777)がストップ高。自己組織化ペプチド技術を用いた吸収性局所止血材「ピュアスター」について、静岡県立静岡がんセンターで、甲状腺切離法での滲出性出血に対する止血材としての甲表研究が開始された。この研究では十回以上既存は、

医師主導特定臨床研究開始

食品スーパー買い
食品消費税ゼロ公約
1月19日、週明け
食品スーパーなど
(3382)などが買われた。

宇宙関連アルテミス始動
ホールディングス(186A)が統騰。

1月第4週の動意銘柄

3日に解散が予定されている衆院選で自民、中道改革とともに食品の消費税ゼロを公約に掲げる方針であることが材料視された。

米国主導の有人月探査計画「アルテミス」が来月初にも始動すると伝わったことになつた。日本とイタリアはデブリ除去で、協力、計画に初期段階から参画する方針段で、Sypsec(290A)が統騰。

やispace(9348)、QPSホールディングス(464A)など宇宙関連銘柄が大幅高に買われた。ispaceはJAXAが公募した宇宙戦略基金の技術開発チーム「月極陸技術」に採択され、ことも好感された。

ローツェ(6323)が急反発。2年2月期の第3四半期累計(3311月)減益ながら、9月期では急回復し

止血が得られない渗出性出血を対象に、ピュアスターを用し、その有効性と安全性を評価する探索的な臨床研究。

ローツェ見直し買い

日東紡績(3110)が7連騰。AIサバーや半導体パッケージ基板向けのパ

視された。Tig1

E Mやウエハソーダなどの主力搬送装置の受注、売上は増加を見込むことが見直し買いを集めた。

転ばぬ先のテクニカル

決算発表本格化で個別物色へ

先週の東京株式市場はグリーンランドを巡る米欧間の緊張が高まる場面がありました。また、高市首相が衆院解散意向を表明する中、立民と公明が新党を結成。与野党の公約に食料品の消費税減税が掲げられたことで長期債利回りが急上昇。これらの影響で日経平均は今月14日高値から一時2300円程度(4.2%)下落する場面がありました。その後、米欧間の緊張が緩和すると日経平均は週末には5万4000円台にタッチするところまでリバウンド。久々のTACOトレード週間となりました。

さて、衆院が解散され選挙戦に突入した今週は世論調査などの戦況睨みの相場へと突入します。選挙=株高アノマリーはありますが、ある程度織り込まれており膠着するかもしれません。そんな中、

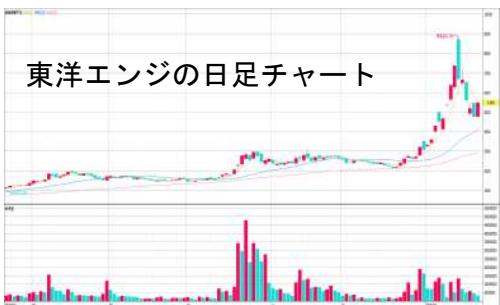
日米ともに決算発表が本格化しますので、個別物色中心の相場展開となりましょう。

日々勇太朗

ミツバS高で新値



ミツバ(7280)がストップ高まで買われ、昨年來高値を更新した。1月7日に日本テレビで放送されたニュース番組でレアースを使用しないアイスを使用した磁石と同等の出力を実現したと紹介されたことが材料視された。安価な磁石を組み合わせることでレニアード・モーターと同様の出力を実現し



上場来高値8760を付け、昨年末比2・8倍に急騰していた。ただ、週明け19日は高値波乱になり、この日は小安く寄りついた後5日線を下回ったことで、上昇

洋エンジがストップ安

上昇一服で利食い急ぎの動き

ホールディングス(2185A)、が急伸、最高値を更新した。ニューヨーク市場でサンディスクを筆頭にストレージ関連銘柄が急伸していることを受けてNAND専業大手の同社株にも資金が流入した。AI受けサードパーティへの需要増からメモリーが品薄状態になつており、想定以上の需要増が予想される。半導体製造成膜装置に特化する

金融株は国債急落
三菱UFJファイナンシャル・グループ
(8306)、三井住友銀行
(8316)など
メガバンクや第一生命
ホールディングス
(8750)、MS&A
Dインシュアランス
グループホールディングス
(8725)な

キオクシアは最高値

C(652)
D 向け顧
き合い増
大幅高に

サイバダインが急伸

BERDYN E(7779)
22日、CY
サイバダインが急伸
が急伸、年初
来高値を更新
した。21日
に全米屈指の
医療産業集積
地、ピツツバ
ーラ（ペンシ
ルベニア州）
のカーネギー
メロン大学と
共同研究に関
するMOU（覚書）を
結んだと伝えられた。

ど生保を含め金融株が総じて安い。衆院選で各党が消費税減税を公約に盛り込む方針で、財政悪化懸念から国債価格が急落。前

ミツバ利益確定売り

米国市場での浸透を
足掛かりにロボット
や人工知能（A I）
を活用した「サイバ
ニクス医療」のさら
なる普及を目指すと
いい、今後の有益貢
献が期待された。また、
国内大手証券が投資
判断と目標株価を引
き上げたことも買い
を呼び込んだ。

レビで放送された二
ユース番組でリアア
ースを使用しない磁
石がリアアースを使
用した磁石と同等の
出力を実現したと紹
介されたとで人気化
したが、20日にス
トップ高となつた後
は、さすがに利益確
定売りに押された。
安価な磁石を組み合
わせることでリアア
ースを使用したモー
ターと同様の出力を
実現している。

利食い急ぎの動きになつた。同様にアサカ理研（572）も一時ストップ安まで売られ、第一稀元素化学工業（4082）や三井海洋開発（6269）、石油資源開発（162）なども軟調だつた。

アステリアJPYC普及期待

中村超S高交え5連騰

けて、協業の検討を開始すると発表したLINEアプリ上で手軽に「JPYC」を利用できる環境を構築する方針で、「JPYC」普及への期待から買いを集めた。

えて5連騰。ナノサイズのゼオライト製品に注力していることが材料視された。ゼオライトはレアアースフリー蛍光体向けや触媒用途として有力されているほか、レアアース回収の吸着剤への利用が見込まれ、リアアース関連として人気を集めた。

東京電力本社
ルディングス(9
501)が急反発
柏崎刈羽原子力
発電所6号機を
この日午後に再
稼働させる方針
と伝わった。同社の
原発再稼働は福島第
一原発事故のあとで
は初めてで、再稼働
に伴う収益改善を期
待する動き。割り引

高野恭壽の 株式情報

これでどや!!



株式市場新聞の名物コーナーが復活！

。超値嵩
けに日経
平均の押
し上げ効
果への影
響は絶大
だつたと
いえます。
（4005）
住友化学
み面は狙う作
戦でいいとみ
ています。

高野恭壽(たかのやすひさ)氏 株式市場新聞
大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て
株式評論家へ。講演会のほかラジオ大阪「タ
カさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジ
オに出演。「株式投資30力条」など著書も。

公式ホームページ

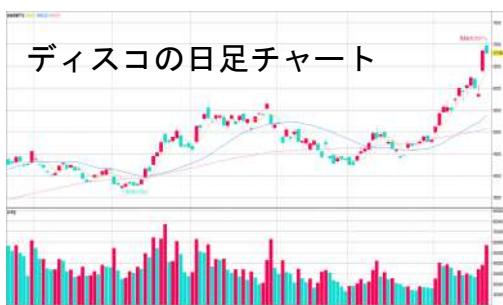
<https://marketpress.jp/kabu-takano/>

東電HD突つ込み狙い

先週の東京市場は22日にきく戻す動きになりました。経平均は寄り付きから大きくなげ、その後も一段高となりました。引けにかけても上げの勢いは衰えず高値圏で終えていました。急騰の要因はトランプ氏が欧州各国に課すとしていた10%の関税引上げを撤回し、グリーランドへの攻撃もとりやめるとしたからです。同盟国との緊張感が弱まつたことを好感し、21日の米国株式が急反発したためでした。

が異常な上げ方になつてゐる銘柄も目立ち、目先的に頭打ちになる可能性高いと思われますので半導体系に偏つた上げ方は続かないと判断して、ここでの上げは利益確定を急ぐ時と思つてます。むしろ、消費税減税の可能性で買われた後、下落している食品など低迷状態の銘柄を狙っていくのも一策です。

込み狙い



洋エンジライセンス採用

週末23日 東洋エンジニアリング（6330）がトップ高。独自技術の尿と造粒ライセンスがナナイジニアの化学肥料製造会社ブリア社が計画する世界最大規模の尿素プラントに採用されたと発表した。全世界で110件以上の自社尿素技術供与、プラント建設実績があり特にアフリカでは日本4000トン規模のプロジェクトに同社のライセンス4件が採用されている。

的と捉えられた。信

東京証券取引所上場
10周年記念株主優待を実施すると発表
した。基準日は3月末で300株以上保有で1万5000円
分のQUOカードを贈呈する。

任天堂（797）が4日ぶり反発
家庭用ゲーム機「スイッチ2」が昨年12月、主力市場の米国で販売が伸び、需 要鈍化に対する懸念を払拭したことが市場調査会社サークナのまとめで分かつたと伝わった。発売から7カ月時点での販売台数がソニーグループ（6758）のPS4を35%上回り、複数のタイトルがランキング上位に入つたとしている。

ディスコがストップ高

用倍率0・74倍と
売り超過でショート
カバーも株価を押し
上げている。半導体
切削装置の同業大手
の**東京精密**(772)
9)も大幅高で新値。

相場展望

まだ「懐疑の中」の局面
高市勝利なら5万9000円

光世証券 エグゼクティブ・マネージャー

西川 雅博 氏

就任から丸1年が経過、トランプ大統領の派手な立ち回りがさらにパワーアップしている印象だ。軍事力を背景にして従来の手法・枠組みから大きく逸脱した強権が矢継ぎ早に発動されている。ただ、「ドンロード主義」による地政学リスクの増大が恒常的に金融市場の波乱要因であるとの見方は短絡的だろう。トランプ大統領にとってはあくまでも自国の経済成長が最優先課題だ。そのためには金融・株式市場の安定は必須である。中間選挙に向けて株価を意識した戦略を取らざるを得ないだろう。今後もヘッドラインを賑わす新たな事案が続く可能性があるが、強い言葉とは裏腹で変節をいとわないトランプ流である限り、短期間で収束に向かうことを見据えた冷静な対応が必要である。

国内では短期決戦の衆議院選挙がスタートする。市場が期待する高市政権の日本成長戦略を推し進めるには、首相が述べたように政治の安定が不可欠である。2月8日の投開票まで高市自民の獲得議席数に関心が集まるだろう。過去2000年代になつてから内閣高支持率を背景に解散総選挙が行われ与党大勝となつたケースは、小泉郵政解散と第二次安倍政権下での3回で計4回あつた。解散から投開票翌日までの日経平均上昇率は平均5・9%で、さらには投開票翌日から30日後までの平均上昇率は4・8%であつた。解散からの2カ月では10%以上の上昇である。デフレ下で株価低迷時代だったことや解散からの期間が長かつたことなど今回と事情は異なるが、高市自民大勝となれば株価押し上げ要因となるのは間違いないだろう。過去の平均上昇率を今回に当てはめ

立ちはだかる。トランプ大統領の派手な立ち回りがさらにパワーアップしている印象だ。軍事力を背景にして従来の手法・枠組みから大きく逸脱した強権が矢継ぎ早に発動されている。ただ、「ドンロード主義」による地政学リスクの増大が恒常的に金融市場の波乱要因であるとの見方は短絡的だろう。トランプ大統領にとってはあくまでも自国の経済成長が最優先課題だ。そのためには金融・株式市場の安定は必須である。中間選挙に向けて株価を意識した戦略を取らざるを得ないだろう。今後もヘッドラインを賑わす新たな事案が続く可能性があるが、強い言葉とは裏腹で変節をいとわないトランプ流である限り、短期間で収束に向かうことを見据えた冷静な対応が必要である。

就任から丸1年が経過、トランプ大統領の派手な立ち回りがさらにパワーアップしている印象だ。軍事力を背景にして従来の手法・枠組みから大きく逸脱した強権が矢継ぎ早に発動されている。ただ、「ドンロード主義」による地政学リスクの増大が恒常的に金融市場の波乱要因であるとの見方は短絡的だろう。トランプ大統領にとってはあくまでも自国の経済成長が最優先課題だ。そのためには金融・株式市場の安定は必須である。中間選挙に向けて株価を意識した戦略を取らざるを得ないだろう。今後もヘッドラインを賑わす新たな事案が続く可能性があるが、強い言葉とは裏腹で変節をいとわないトランプ流である限り、短期間で収束に向かうことを見据えた冷静な対応が必要である。

まだ「懐疑の中」の局面
高市勝利なら5万9000円



チャートから読む 脱落銘柄

グラッドキューブ(9561) パナソニックHD(6752)



昨年12月17日の390円を底にじり高基調となり、22日には一時、75日線まで急回復。ここで踏み止まり11月のもみ合いゾーンである500円台を抜けてくれば9月1日の引け値761円奪回を期待。



大勢上昇トレンドのなか5日線をフォローに鋭角的に上昇、噴き値局面近い。AIサーバー向け電子部品伸び、データセンター蓄電システムやコンデンサなどAIインフラ省エネソリューションへ期待も強い。

クラシル(299A)



昨年8月4日に2285円の最高値から半値近く下落し1月19日に1118円安値更新。底値から立ち上がりつつあるが、75日線である1317円を明確に抜けなければ再度、安値に落とされる可能性も。

ニトリHD(9843)



戻り試すも25日線に跳ね返される。2Q8%最終減益で、円安進行に伴う採算悪化により通期14%増益計画は未達成を懸念。押し目いに積み上がった信用買い残が重いで、再び下値模索も。



持つてほし。任を背負うたつては大変だ。企業も長期間にわたっては大変だ。企業も長期間に評価できるのだから自民党はその点が変わるのが今回で何度も目かと呆れてしまう。同じ看板と組織で長年運営するは大変だ。企業も長期間に責任を背負うたつては大変だ。企業も長期間に評価できるのだから自民党はその点が変わるのが今回で何度も目かと呆れてしまう。同じ看板と組織で長年運営するは大変だ。企業も長期間に評価できるのだから自民党はその点が変わるのが今回で何度も目かと呆れてしまう。同じ看板と組織で長年運営するは大変だ。企業も長期間に評価できるのだから自民党はその点が変わのが

星野三太郎の

株街往来

～看板の重さ～



これに加えて立憲民主党と公明党の合併にも驚いたが、社会党が崩壊して、新進党から民主党、看板その後は希望の党とともに出来ては無くなり、看板が変わるものが今まで度々目かと呆れてしまう。同じ看板と組織で長年運営するは大変だ。企業も長期間に評価できるのだから自民党はその点が変わのが

影響で東北などではドカ雪で大変な時期だ。その年に選挙活動するには極め込んで、2年以降では初のケースとなるそうだ。1992年当時と違つて温暖化の大変。それでも国のトップが決めたことだから準てはならぬ。備は当然ながら国民も投票に行かなくてはならぬ。筆者が記憶する限りこの時期の解散総選挙は記憶がないが、調べてみると通常国会での冒頭解散は60年ぶりの2回目で、1月召集となつた1992年は、2年以降では初のケースとなるそうだ。1992年当時と違つて温暖化の大変。それでも国のトップが決めたことだから准てはならぬ。備は当然ながら国民も投票に行かなくてはならぬ。筆者が記憶する限りこの時期の解散総選挙は記憶がないが、調べてみると通常国会での冒頭解散は60年ぶりの2回目で、1月召集となつた1992年は、



New product

キッコーマン うちのごはん 彩りレンジの素 満足感のある副菜を短時間で



うちのごはん 彩りレンジの素

くることができる「キッコーマン うちのごはん 彩りレンジの素」シリーズを新発売する。

調味料と具材が入った袋に材料を入れて電子レンジで加熱するだけで、2~3人前の満足感のある副菜を短時間でつくることができるレンジ専用の調味料となっている。難しい味付けや火加減の調整は不要で、フライパンや鍋を使わずに調理ができる。

忙しい日の追加の一品としてはもちろん、お弁当やお酒のおつまみにも最適。今回発売するのは「コクうまポテトサラダ」と「ふんわり具たくさんオムレツ」の2アイテム。

サッポロビール SORACHI 1984を一新 東北産ソラチエース使用も開始



SORACHI 1984

サッポロホールディングス（2101）グループのサッポロビールは「サッポロ SORACHI 1984」を2月製造分から順次リニューアルする。

1984年に開発し、今や世界中のブリュワリーから人気となっている伝説のホップ「ソラチエース」を100%使用。今回のリニューアルでは、上富良野産ソラチエースの使用量をさらにアップし、東北産ソラチエースの一部使用も開始することで、4年連続で国産ソラチエースの使用量を増やしている。独自のドライホッピング製法に加え、麦汁を穏やかに煮沸することでヒノキやレモングラスのようなさわやかな香りとおいしい余韻を実現。

流通企業10社協力のもと、売り上げの一部を上富良野町や岩手県北ホップ農業協同組合に寄付を行うなど、生産者支援も行う。

潮流

未来に投資する道を選ぶ 衆院選と経済財政軸の国家戦略

marKet bAnk

をつくる選挙」と名付けた。今回の解散は従来型の政権延命を目的としたものではない。全く新しい経済財政政策を軸とする国の大転換である。しかも、それらは前回の衆院選における自民党の政権公約には明示されていなかった。だからこそ解散は重い決断となり、首相自身の進退を懸けた政治判断となった。

高市総理は政策の大転換を国民の信任なしに進めることはできないとして、国民に正面から問いかける道を選んだ。2025年度補正予算の早期執行により、経済運営に空白を生じさせない体制を整えた上で解散であり、当面の景気下支えを確保したうえで、次の段階に進もうとしている。これは「選挙のための経済」ではなく、「政策実現のための選挙」である。高市内閣の経済政策の核心は、需要不足を前提とした積極財政を基軸にしつつ、その資金を将来の供給力を高める分野へ集中投下する点にある。

半導体、次世代エネルギー、量子・AI、宇宙、先端素材など、国家がリスクを受け、民間投資を呼び込む戦略分野を明確に定める点に特

2月8日に衆院選挙が決まった。高市総理は今回の総選挙を「自分たちで未来

徴がある。金融政策依存から脱却し、国家戦略として成長投資を行う構造転換である。しかし既存メディアの多くは、今回の解散を支持率や政局として捉えていない。財政規律か放漫財政かという旧来の二項

対立に押し込め、高市経済の全体像を伝えていない。米国や欧州が国家戦略型経済へ移行する中、日本でも同様の転換が始まっているという視点はほとんど報じられていない。

衆院選で自民党が単独過半数を確保すれば、高市総理の政策は一気に実行段階へ移る。連立調整に縛られず、6月に策定される骨太方針に積極財政を前面に打ち出すことが可能となる。今回の総選挙は、単なる政権選択ではなく、日本経済の進路を数年単位で決定づける分岐点である。

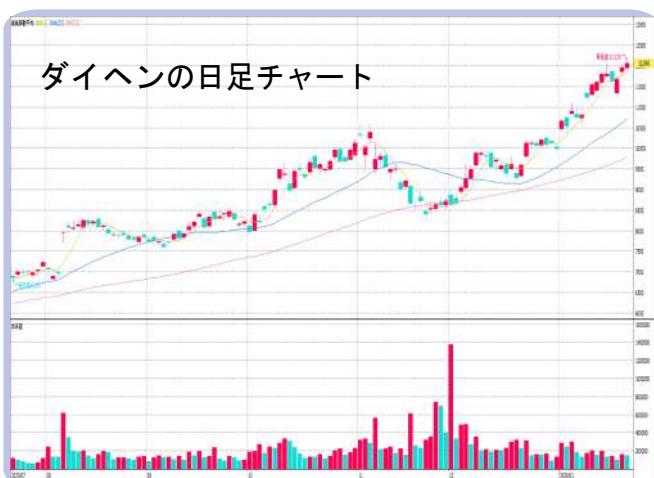
最終的に判断するのは国民である。現状維持か、国家として未来に投資する道を選ぶのか。今回の衆院選での「未来をつくる選挙」とは、政治家だけでなく、国民自身が覚悟を問われる選挙にほかならない。

潮流銘柄はダイヘン（6622）、荏原製作所（6361）、住友重機械工業（6302）。

にNHK番組「経済最前線」にて独自の投資支援システムが紹介された。直近では2024年3月の夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」で優勝。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行なう。



岡山 憲史氏（株式会社
マーケットバンク 代表取
締役）のプロフィール



国民自身が覚悟問われる



敏腕先物ディーラー

ハチロクの裏話

ハチロクのプロフィール
証券アナリストから証券会社

の法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。

衆議院選挙の投開票が決まりたが、投票当日までは選挙情勢の観測で相場は上下しそうだ。市場自体は高市首相率いる自民党と維新で過半数を取り積極財政を推し進めるとの見方で動いているが、選挙は予想外のこと起こる。

今回、支持率から見ると高市首相に国を引つ張つて行ってもらいたいけど、自民党を応援したいわけではない。しかし、高市氏が属する自民党に入れないと組織票の強い新

日銀金融政策決定会合後には一時、1ドル159円台まで円安が進んだ。ここまでくるとやはり為替介入の警戒感もでるため、株式市場の高値取りは難しい。

金曜日のナイトセッション取引では円が対ドルで急騰し1日としては約6カ月ぶりの大幅上昇を記録した。ニューヨーク連銀が主要銀行に対し参考となる為替レートの提示を求めるレートチェックを実施したとし、同連銀が市場介

タートとなりそうだが、円高の時でも底堅い動きをする株式市場を期待したい。チャートでは21日に付けた窓埋め（5万2848円78銭）や節目の5万2500円、週足ボリンジャーバンドの+1σ（5万2118円処）が抵抗ラインとなろう。一方、上値は5万4000円処で戻り売りは出そうである。

今週のレンジは5万2500円（5万4000円を想定する。）

（ハチロク）

先週の日経平均は前週末比約89円安となり3週ぶりに反落したが、週初の寄り付きが安かつたため週足は3週連続陽線となつた。先週は前週までの急激な上昇の反動により週初は安く始まり一時前週末比約1600円安まで売られたが、週末の引けでは約89円安まで戻した。

税を掛けると発表し、欧米対立の警戒感が強まり相場は軟調に推移した。しかし、その発表をその後取り消すと再び「TACCOトレード」が復活し値を戻した。相変わらずトルンプ氏の発言に相場は振り回されているが、米国の金融緩和路線が続く限りは上昇トレンドに変化はない。

「若者層が日本について真剣に考えているのか知りたいところもある。相場は選挙情勢に左右されやすい展開となろう。先週は売られても戻る底堅い展開となつたが、同時に円安も進行

入を支援する準備を進めてい
るのはないかと受け止めら
れ、155円台にまで一気に
円高が進み、日経平均先物は
週末比800円安となつてい
る。

円高時も底堅い動き期待

未来の日本を決める大事な選挙

党の中道改革連合に総理大臣の座を奪われる可能性もある、というジレンマだ。今回の選挙は今後の日本という国の未来がかかる。非常に重要な選挙である。「失わ



記者の視点

相場見通し

円高は与党に追い風

週明け5万3000円割れ

先週の東京市場はトランプ米大統領によるグリーンランドへの軍事圧力発言があり、米国株安とともに東京市場も日経平均は21日まで5日続落、5万3000円割れまで急速に値を下がったが、その後はトランプ大統領が発言を撤回すると週末に向けては5万4000円台を一時回復する。国内に目を向けてみると週末に向けたが、その後はトランプ大統領が発言を撤回すると週末に向けては5万4000円台を一時回復する。

トの提示を求めるレートチャートを実施したと言われる。過去の為替介入は日本单独だったが、今回は米国の支援も得ながらの介入となれば事情が異なる。週明けは日経平均が一時的に5万3000円を割れても、日米連携による為替安定は

トから動きたい。国内では26日にファンック(6988)、27日にエクスコ(6954)、日東電信(4063)、力プロコン(9697)、28日にアドバンテスト(6857)、OLC(4661)が上場。今週から決算ウィークリーは決算リスクも考慮して慎重に動いた。

「AUDはお酒を飲む人の疾患です」。最近よく見かけるCMだが、気になるので調べてみた。AUD(アルコール使用障害)とは多量飲酒により脳のはたらきが変わり、自分で酒を止められなくなつていく進行性の疾患で、重症はアルコール依存症と定義される。なんだ飲み過ぎに注意といふことかと思ったが、悪化する

ことかと思つたが、悪化すると睡眠障害や内臓疾患だけでなく、うつ病などの合併やがん、認知症のリスクも高まるらしい。セルフコントロールが効かない事態に陥らないよう、悪化の兆候には注意したい。



編集後記

当面のスケジュール

- ・26日 12月首都圏新規マンション発売
- ・27日 12月企業向けサービス価格指数
米FOMC(～28日)
- ・28日 12月18・19日開催の日銀金融政策決定会議事要旨
パウエルFRB議長会見
- ・29日 1月消費動向調査
- ・30日 1月東京都区部消費者物価、12月失業率・有効求人倍率
12月商業動態統計、12月鉱工業生産
ユーロ圏10-12月期GDP
米12月生産者物価
- ・31日 中国1月製造業PMI、非製造業PMI、コンポジットPMI
- ・2日 1月22・23日開催の日銀金融政策決定会合の「主な意見」
中国1月Rating Dog製造業PMI
米1月ISM製造業景況指数
- ・3日 1月マネタリーベース
- ・4日 ECB定例理事会(～5日)
米1月ADP雇用統計
米1月ISM非製造業景況指数
- ・5日 ラガルド総裁会見
- ・6日 12月家計調査
12月景気動向指数
米1月雇用統計

【ご注意】株式市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被られいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。